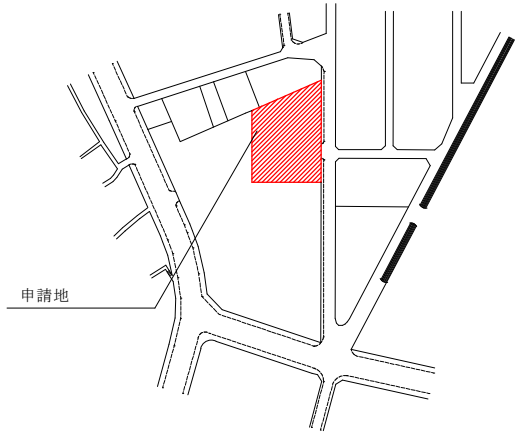
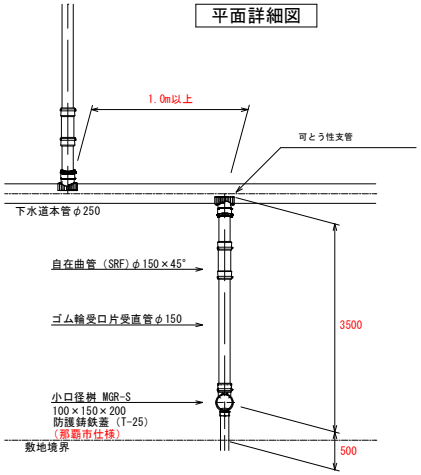
※本管中心線より上方に取付ける。

添付資料の例（参考程度）



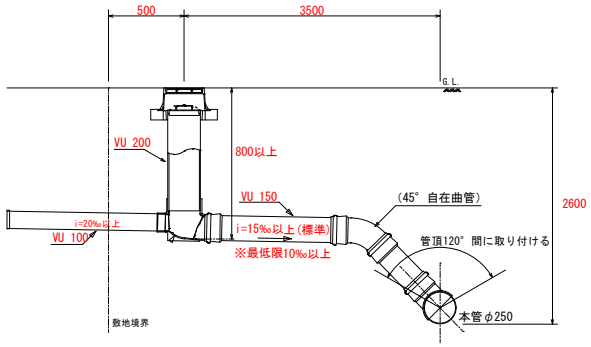
付 近 見 取 図

平面詳細図



※施工・維持管理に支障が無い範囲で出来る限り狭める

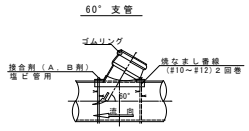
断 面 構 造 図



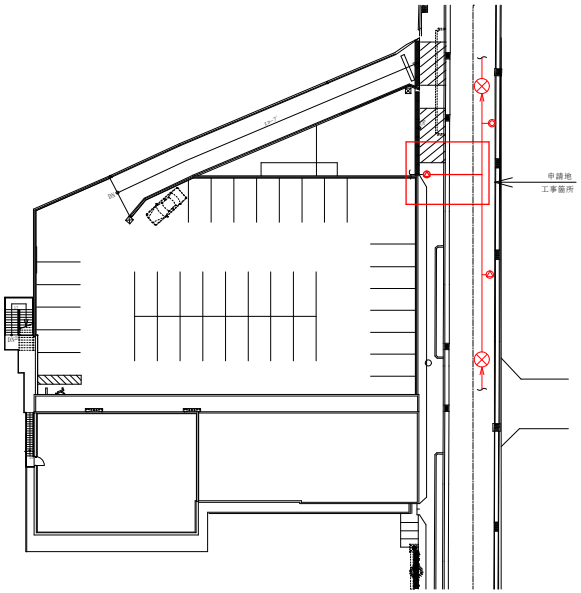
※支管の取付位置は本管中心線より上方に取付

支管の取付詳細図

縦断面図

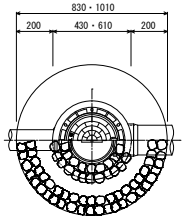


注）1．取付管は、ゴム輪タイプ、接着タイプ
プレーンエンド直管とカラー継手接合タイプ
のどのタイプを使用してもよいが、
係員の承認を受けて使用する。
2．支管の取付位置は、管頂120° 間に
取付るものとし、やむを得ない場合
は、管頂180° （本管中心線より上側）
取付ける。
3．取付管の布設勾配は、15‰以上と
する。

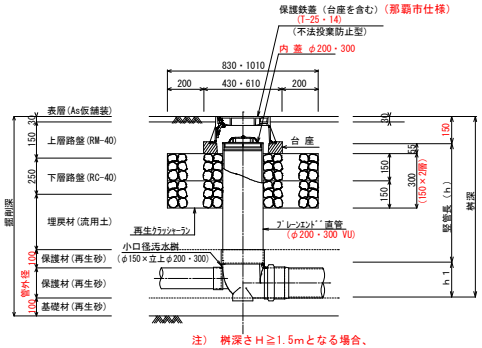


平 面 図

平 面 図



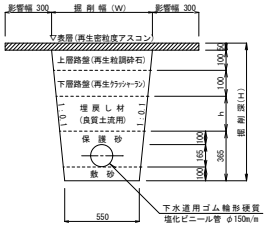
断 面 図



注） 桝深さH≧1.5mとなる場合、
立上り管はVUφ300とする。

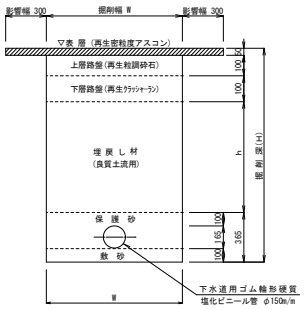
土 工 断 面 図

素 掘 り 部



※ H≦1.5mの時

土 留 め 部

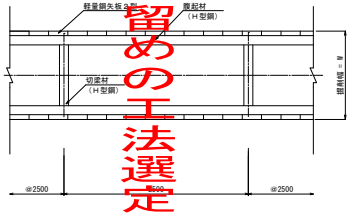


※ H≧1.5mの時

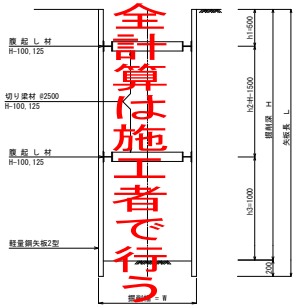
軽量鋼矢板工法

※土留めの工法選定、安全計算は施工者で行う。

平 面 図



断 面 図



※ 注 H=1.5～2.0mは、支保工1段とする。
※ 注 H=2.0m以上は、支保工2段とする。